

第37号(2010年度)

金沢国際親善ニュース

第2回 日仏自治体交流会議



金沢市姉妹都市交流委員会



だ い に か い に ち ふ つ じ

Top News 第2回 日仏自

2010年5月11日から13日の3日間、金沢市において、第2回日仏自治体交流会議を開催しました。第1回日仏自治体交流会議は、2008年10月に日仏交流150周年を記念し、フランス・ナンシー市で開催されています。第2回会議には、前回の参加自治体29を上回る日本側26、フランス側18、合計44の自治体から約160人が参加しました。

1. 歓迎セレモニー（5月11日）

第2回日仏自治体交流会議は、金沢21世紀美術館における歓迎セレモニーで幕を開けました。ご祝儀として金沢の伝統芸能である一調一管が披露され、主催側が歓迎のあいさつをしました。その後、レセプションが行われ、参加者はさまざまな話題について会話を弾ませ、交流を深めました。



2. 全体会議および分科会（5月12日）



開会にあたり、日本側の推進委員長である金沢市長、フランス側の推進委員長であるナンシー市長、また、来賓の駐日フランス大使があいさつを行いました。

続いて、全体会議が行われ、日本側からは高松市長、京都市長、仙台市長が事例を発表し、フランス側からは、フランス外務省アジア移動大使、パリ市助役、フランス大都市市長会会長ほか2名が発表しました。

その後、参加自治体が「文化」、「経済」、「環境」、「社会」をテーマに4つの分科会に分かれ、事業の発表と議論を行いました。

	テーマ	日本側参加自治体 (26自治体)	フランス側参加自治体 (18自治体)
文化	「文化、伝統を地域振興に生かすための行政、学術、産業界の役割」	鶴岡市、富岡市、 ◆金沢市、新潟市、 瀬戸市、神戸市、桜井市、 高松市	オータン市、シャルトル市、 クサク・フォル・メドック市、 マルセイユ市、◆ナンシー市
経済	「地方自治体による産業振興の取り組みと相互協力の可能性」	白河市、甲州市、 ◆京都市、大阪府、兵庫県、 三朝町、福岡市	ナンシー大都市共同体、 グルノーブル市、 イッシー・レ・ムリノー市、 ナント市、パリ市、 ピュイ・ドゥ・ドーム県、 ◆セーヌ・エ・マルヌ県、 ヴァル・ドワーズ県
環境	「都市の持続的発展と環境保護を両立させるため、地球温暖化対策、廃棄物対策をどう進めるか」	稚内市、◆仙台市、 川越市、鎌倉市、 飯田市、佐賀市	◆アヴェロン県、コンピエーニュ市、 ナンシー大都市共同体、 ニース・コート・ダジュール大都市共同体
社会	「活力ある社会を維持するため、少子高齢化にどう対応するか」	市川市、甲府市、 ◆佐久市、高山市、 奈良市	ポー市、◆トゥール市

※ナンシー大都市共同体は2つの分科会に参加 ◆が座長都市

ちたいこうりゅうかいぎ かいさい 治体交流会議 開催



【日程】

5月11日(火)

市内視察:

- ① 手しごと工房めぐりコース/
- ② まちなみ探訪コース
- ・ 歓迎セレモニー・レセプション
(21世紀美術館)



5月12日(水)

市内視察:

- 早朝「兼六園」探訪コース
- 開会式、全体会議
(21世紀美術館)

分科会

(金沢市文化ホール、金沢ニューグランドホテル)

能鑑賞



5月13日(木)

ラウンドテーブル、クロージング

(21世紀美術館)

加賀鷹梯子登り鑑賞

市内視察:

- ① 手しごと工房めぐりコース/
- ② まちなみ探訪コース



3. 金沢宣言採択 (5月13日)

分科会で議論された内容はラウンドテーブルで発表され、その議論と提案を踏まえ、会議出席者一同により「第2回目自治体交流会議金沢宣言」が採択されました。



この第2回会議では、1対1の自治体交流の枠組みを超え、多数の自治体が連携して共通の課題に取り組む新たな自治体交流・協力の意義を示すことができました。

2012年秋、第3回会議がフランス・シャルトル市で開催される予定です。



参加者一覧

【日本側自治体】

金沢市(市長)、稚内市(副市長)、仙台市(市長)、白河市(市長)、鶴岡市(国際室長)、富岡市(市長)、川越市(市長)、市川市(副市長)、鎌倉市(市長)、新潟市(市長)、甲府市(市長)、甲州市(市長)、飯田市(市長)、佐久市(市長)、高山市(副市長)、瀬戸市(交流活力部長)、京都市(市長)、大阪府(国際交流・観光課長)、兵庫県(観光・国際局長)、神戸市(副市長)、奈良市(市長)、桜井市(副市長)、三朝町(町長、議長)、高松市(市長)、福岡市(副市長)、佐賀市(副市長)

【フランス側自治体】

ナンシー市(市長)、ナンシー大都市共同体(副議長)、コンピエーニュ市(助役)、オータン市(市長)、イッシー・レ・ムリーノ市(助役)、ニース・コート・ダジュール大都市共同体(助役)、ナント市(助役)、ポー市(助役)、パリ市(助役)、ヴァル・ド・ワーズ県(副議長)、セヌ・エ・マルヌ県(議長)、マルセイユ市(助役)、シャルトル市(助役)、トゥール市(助役)、クサク・フォル・メドック市(市長)、アヴェロン県(副議長)、グルノーブル市(市長)、ピュイ・ド・ドーム県(副議長)

【同時開催】

フランス芸術週間

会議に合わせ、5月8日(土)~14日(金)までフランス芸術週間が開かれ、市内各所のイベントをとおり、様々なフランス文化が紹介されました。

行われたイベントは、カミュー・サン＝サーンスの夕べ/フランス美術展(セム展、クロード・プルヴェ展、金沢市・金沢美大所蔵作品展)/まちなみフランス芸術祭(シャンソン・オペラ・クラシック編、大道芸・似顔絵編)/マルグリット・デュラス その文学へのいざない/フランス映画特集/フランス音楽の夕べ/フランス車の魅惑/「フランス芸術週間」記念 市民茶会のほか、市内百貨店ではフランスフェアの開催、市内ホテルではフランス料理が特集されました。

バッファロー [アメリカ合衆国]



金沢市役所表敬訪問

提携 1962年(昭和37年) **人口** 26万人

面積 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。「五大湖の女王都市」とも呼ばれ、オルブライト・ノックス美術館、1846年創立の州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が6つ現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

ハンブルグ高校ジャズバンド 2度目の来沢

2010年11月19日から24日までの間、ハンブルグ高校ジャズバンド団が来沢しました。

ハンブルグ高校ジャズバンドとの交流は、平成16年に百万石まつりに参加してもらったことがはじまりです。平成18年には、金沢市民芸術村のジャズ・ジュニア・オーケストラJAZZ21が、ハンブルグ高校を訪れ、交流を深めています。今回が2回目の来沢となりました。

滞在中は、浅野川小学校を訪問し、生徒と交流を図ったほか、ひがし茶屋街や21世紀美術館等の見学、和太鼓や着物の着付けを体験しました。初めて日本・金沢の文化に触れることができ、とても貴重な経験になったようです。

ったようです。

最終日前日には、JAZZ21との交流ジャズコンサートが金沢市民芸術村パフォーミングスクエアにて開かれました。個別演奏のほか、プログラム最後には、JAZZ21とワークショップを行った合同曲2曲も演奏し、大いに盛り上がりました。会場を満席にする多くの市民が集まり、迫力のある演奏に熱い拍手が送られました。

Topics

能楽師団一行 バッファロー市訪問

数俊彦氏をはじめとする能楽師団一行6名が、2010年4月15日～18日までバッファロー・金沢姉妹都市委員会道井会長の招きによりバッファロー市を訪問し、大学等におけるレクチャーや能のプレゼン等とおして加賀宝生を紹介しました。4月2日に出発挨拶、4月27日に帰国挨拶が行われました。

イルクーツク [ロシア連邦]



ロシア協会パネル展の様子

提携 1967年(昭和42年) **人口** 58万人

面積 280km²

バイカル湖(世界遺産)の南にある中部シベリア最大の都市で、イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

ようこそ!中学生親善団の皆さん!!

2010年7月10日から16日まで、クズミナ ヴァレンチーナ イルクーツク市議会議員を団長とする中学生親善団16名が、同じ世代の青少年と交流するため来沢しました。一行は、市内二校の中学校を訪問し、医王山中学校では、授業見学やバトミントンでのスポーツ交流、小將町中学校では、全体会でのパフォーマンス交換や同校リーダー会との意見交換会を通じて生徒らとの親睦を深めました。また、一泊二日のホームステイでは、日本の生活様式を体験するだけでなく、ホストファミリーの一員として、楽しい一時を過ごしました。さらに交流会などを通じて多くの方々とのお触れ合うとともに、市内視察や日本文化体験なども行いました。最終日に開催されたホストファミリーの家族を交えての送別会は、両者ともに涙をこらえきれない場面

も見られ、素晴らしい交流があったことがうかがえました。団員は、姉妹都市金沢で経験したたくさんの思い出を持ってイルクーツク市へ戻りました。

なお、この訪問は昨年実施する予定でしたが、新型インフルエンザの関係で延期となってしまいました。

Topics

石川県ロシア協会が交流写真展を開催

2010年10月25日から29日にかけて、石川県ロシア協会金沢支部(金沢市ロシア協会)は、金沢市役所エントランスホールに於いて、同協会が毎年設定している日ロ友好親善月間「フェスタ・バイカル2010」の枠組みにおいて交流写真展を開催しました。交流写真展では、同協会がイルクーツク州に派遣した友好交流代表団、友好交流パレ工団の交流、本委員会主催するイルクーツク市中学生親善団の金沢での活動、イルクーツクのまちなみなどの写真を展示しました。なお、エントランスホールでは同時に防火ポスター展も開催されており、来庁された方々は、併せて楽しんでいました。

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



上海万博でのポルト・アレグレブース

- 提携** 1967年(昭和42年)
- 人口** 141万人
- 面積** 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオデジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ(カウボーイ)の像が訪れる人々を出迎えている。

ポルト・アレグレ市長交代



2005年1月より市長を務めてきたジョゼ・フォガサ氏が退任し、副市長であったジョゼ・フォートウナティ氏が、2010年3月30日より市長に就任しました。

ジョゼ・フォートウナティ市長

ポルト・アレグレ市が上海万博へブース出展

上海万博のベストシティ実践区パビリオンケースにてポルト・アレグレ市が展示を行いました。蘇州市姉妹都市交流30周年記念大会のため、蘇州市に訪問していた団員が展示ブースを訪れました。

アントワープ 【ベルギー王国】



「アントワープ市立博物館」外観

- 提携** 1971年(昭和46年)
- 人口** 25万人
- 面積** 156km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「アントワープ・フローラリア」は世界的にも有名。アントワープ港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖バーフ大聖堂や1816年創立のアントワープ大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

「アントワープ市立博物館」開館

2010年10月9日、「アントワープ市立博物館」(通称STAM)がアントワープ市に新しく開館しました。この博物館は13世紀の修道院をもとに改修を加えて建築されたもので、アントワープの歴史遺産から現代の様子までを紹介する複合文化施設です。

10月8日に行われた開館記念式典には、金沢市から山下義夫・市立病院事務局長ほか1名が出席しました。

美大での短期交換留学生

金沢市とアントワープ市が2008年に結んだ美大同士の交流協

定に基づき、2010年は以下の短期留学が実施されました。

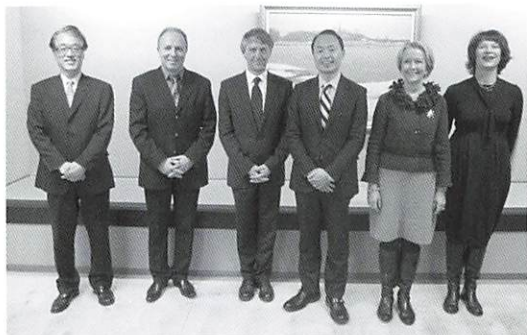
- ・アントワープ王立美術アカデミーへ派遣
石川雄太さん(彫刻専攻修士1年)、船曳朋子さん(美術工芸専攻博士1年(油画))
- ・金沢美大で受入
サンヌ・ヴァン・ワンズィール(グラフィックデザイン修士)

Topics

北陸ベルギー友好協会 発足

アントワープ市はじめベルギー国民と北陸地方の在住者の交流を促進するため、5月23日に北陸ベルギー友好協会が設立されました。今後、ベルギーの文化や芸術などの魅力を伝える講演会や交流事業が計画されています。

ナンシー【フランス共和国】



ナンシー国際見本市協会代表団と山野市長

提携 1973年（昭和48年）

人口 10万人

面積 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。現在は学生数3万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

20人目の交換留学生

金沢市とナンシー市は1973年の姉妹都市提携以来、継続して留学生の相互派遣を行っています。また、従来は1年おきの派遣・受入でしたが、昨年からは制度を改正して例年化し、より活発な交流を行っています。

金沢市からは、昨年派遣された館葉月さんが帰国し、20人目の金沢留学生として原恵理子さん（金沢美大・美術科芸術学専攻）が2010年10月よりナンシー国立高等美術学校で留学生生活を始めました。

ナンシー市からは、バステイアン・ルーランドさんが留学期間を終えて帰国し、20人目のナンシー留学生としてアンヌ＝ソフィー・ベルタンさん（ナンシー国立高等美術学校）が2010年10月より金沢美大で学んでいます。



гент短期留学生ヴァン・ワンズィールさん（左）とナンシー交換留学生ベルタンさん（右）

ナンシー国際見本市

2011年1月20日、ナンシー国際見本市協会代表団が金沢市長を表敬訪問しました。代表団は、ナンシー市助役でもあるエリザベト・レティエ協会長と他4名からなるもので、2011年5月にナンシー市で日本を招待国とする国際見本市が開催されるため、金沢市のブース出展を働きかけるため正式な依頼に訪れました。

この依頼を受けて金沢ブースの出展が決まり、現在準備に取り組んでいます。金沢ブースは、日本コーナーのメインとなる予定です。

Topics

高校生スカイプ交流

ナンシー市内の高校がインターネットのスカイプを使った英語交流の相手校を探しており、これを受けて石川高専との交流が以下のとおり実現しました。

日時：2011年1月20日（木）17:00~18:00

日本側：石川工業高等専門学校 有志学生 約20名

仏側：ノートルダム・サン＝ジズスバール高校

1年生クラス32名

学生同士がお互いの声を聞き顔を見ながらコミュニケーションをすることで実際の外国文化に触れ、また、国際語としての英語の役割を肌で感じることができました。



高校生スカイプ交流の様子

蘇州 [中華人民共和国]



蘇州工芸美術職業技術学院訪問団森副市長表敬訪問

提携 1981年(昭和56年)

人口 633万人

面積 8,488km²

約2500年前、「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。食の地としても有名で、「魚と米の里」と呼ばれているが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げている。

蘇州姉妹都市交流30周年記念大会・上海万博「蘇州デー」式典に参加

蘇州市がイタリアのベニス市と初めて姉妹都市提携してから30周年を祝う蘇州姉妹都市交流30周年記念大会と上海万博「蘇州デー」式典に参加するため、古田秀一・金沢市企業局長を団長とする市代表団2名と「竹の子会」のメンバー5名が、2010年6月25日から29日の日程で、蘇州市と上海市を訪問しました。

蘇州姉妹都市交流30周年記念大会及び上海万博「蘇州デー」式典においては、「竹の子会」の皆さんが見事な民謡を披露し会場を沸かせました。なお、本市と蘇州市は姉妹都市提携をしてから2011年が30周年となります。



蘇州姉妹都市交流30周年記念大会での竹の子会の公演

第3回金沢市中学生親善団を蘇州市に派遣

2010年7月23日から29日まで米林憲英・金沢市農林部長を団長とする金沢市中学生親善団19名を蘇州市に派遣しました。これは、2009年実施予定でしたが、新型インフルエンザの流行により一年延期して実施されたものです。

今回派遣された一行は、蘇州外国語学校寮で同学校生徒と寝食を共にしながら交流を深めました。また、中国伝統文化である刺繍や太極拳などを体験したり蘇州市内を視察するなどして中国蘇州について理解を深めるとともに、蘇州外国語学校の生徒にパワーポイントで日本の文化を紹介したり歌や日舞を披露するなどして日本文化を紹介したりしました。

皆さんそれぞれ掛けがえのない友人と思いで作って一回り成長して帰ってきたようでした。



中学生親善団送別交流会

蘇州工芸美術職業技術学院訪問団来沢

孫麗華・蘇州工芸美術職業技術学院副院長を団長とする蘇州工芸美術職業技術学院訪問団5名が2010年8月18日から20日まで本市に滞在しました。滞在中は、森源二・金沢市副市長を表敬訪問するとともに、金沢びじゅつ工芸大学、金沢21世紀美術館、金沢卯辰山工芸工房などを視察し交流を深めました。

Topics

蘇州市から協力交流研修員受入れ

総務省などの支援により実施されている自治体職員協力交流事業を利用し、金沢市の国際交流業務等について学んでもらうため、姉妹都市・中国蘇州市から推薦を受けて金沢市へ派遣された中国蘇州農業職業技術学院・日本語講師を務めている樊文瓊氏を、協力交流研修員として約10ヶ月間受け入れました。樊氏は5月23日に来日し、まず(財)自治体国際化協会で全体研修を受講しました。その後、6月24日に来沢し、国際交流課にデスクを置き、研修として、金沢市中学生蘇州市派遣事業に準備からかわり派遣に同行したほか、姉妹都市蘇州市をはじめとする中国からの代表団への対応、パンフレット等の翻訳、小中学校訪問及び先進都市視察など、国際交流業や市政に関する幅広い分野の経験をしてもらいました。そして3月25日に、金沢市長に研修の成果を報告した後、3月28日に帰国しました。

なお、樊氏は、この事業の研修員としては6人目、中国からは2人目の研修員でした。

全州【大韓民国】



「第9回金沢市韓紙工芸作家招待展」開会式

提携 2002年（平成14年） **人口** 64万人

面積 206km²

「後百濟」の都として千年余りの歴史を持つ古都。現在は全羅北道の道都である。李氏朝鮮を開いた李成桂が居を定めた地としても知られる。国指定宝物の豊南門（ブンナンムン）、韓屋村などの歴史遺産や韓紙（ハンジ）、韓食（ハンシク）、韓（ハン）ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されており、「もっとも韓国的な都市」と評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求しているとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、持続可能な成長のための21世紀新産業都市への変貌を図っている。

第9回金沢市韓紙（ハンジ）工芸作家招待展を開催

2010年7月21日から8月1日に、金沢21世紀美術館地下1階「市民ギャラリーB」にて「第9回金沢市韓紙工芸作家招待展」を開催し、2年ぶりに韓紙工芸品の秀作約106点が金沢市民に披露されました。

この展示会は、2002年の姉妹都市提携後、全州市の(株)韓紙文化振興院との間で毎年交互に双方の都市で開催されているもので今年9回目になります。

最近の韓流ブームのお陰か、連日多くの観覧客が訪れ、韓国の風俗を紹介する韓紙人形や韓紙傘などを興味深そうに眺めていました。また、作品について熱心に質問する方もいらっしゃいました。

本展示会の開会式に参加するため、李相七・(株)韓紙文化振興院理事長を団長とする(株)韓紙文化振興院訪問団20名が7月20日から22日まで本市に滞在しました。また、滞在中に出出保・金沢市長を表敬訪問しました。

「2010全州ビビンバ祭り」にて金沢の和菓子を紹介

ビビンバ発祥の地とされる食の都全州にて開催された「2010全州ビビンバ祭り」に参加するため、本市代表団4名が2010年10月20日から27日まで全州市を訪問しました。

メイン会場である韓屋村内の「コアアウトレット」においては、「金沢和菓子ブース」を設置して金沢の和菓子を展示試食提供しました。また、和菓子職人で加藤皓陽堂代表取締役社長の加藤晴彦さんが生菓子を直接実演し、ブースを訪れた方々に配りました。これは大好評で、一時期加藤さんの生菓子を待つためにできた長蛇の列のため、交通整理をしなければならないほどでした。会場を訪れた人々は加藤さんの素晴らしい手さばきと、出来上がった生菓子の美しさ、そしてそのおいしさに三度感動していた様子でした。金沢の和菓子の美しさと素晴らしさを存分にPRできた行事になりました。

大連【中華人民共和国】



大連市人民対外友好協会訪問団市役所表敬訪問

提携 2006年（平成18年） **人口** 613万人

面積 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、「ロマンの都」「北方の真珠」とも称えられるファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。

また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも大きな発展を遂げるとともに、郊外に位置する「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指す今日の大連市は、北東アジアにおける重要な国際航空センターと国際都市の建設に邁進している。

大連市人民対外友好協会訪問団が金沢市役所を表敬訪問

2010年6月3日から4日の日程で、元大連市長である李永金・大連市人民対外友好協会会長を団長とする大連市人民対外友好協会訪問団4名が来沢し、6月3日に金沢市役所表敬訪問をして山出市長と懇談しました。

また、26日に管団長と新家俊一・金沢市市民局長が代表となり、大連市地震局と金沢市市民局との間で防災友好交流覚書調印式が執り行われました。

大連教育学院と教育プラザ富樫が教育友好交流合意書調印

張涛・大連教育学院院長を団長とする大連教育学院訪問団5名が来沢し、2011年2月12日に教育プラザ富樫にて教育プラザ富樫と大連教育学院との教育友好交流合意書を調印しました。調印者は、張涛・大連教育学院院長と川原利治・金沢市教育プラザ富樫総括施設長です。

大連市地震局と金沢市市民局が防災友好交流覚書調印

管恩福・大連市地震局副局長を団長とする大連市地震局訪問団15名が2010年10月25日から27日まで来沢し、本市の防災関連の施策を視察しました。

2010年度から、より多くの市民の方に姉妹都市公園に親しんでもらうとともに、姉妹都市交流に関心をもってもらうため、姉妹都市公園における国際理解講座の募集を行い、申し込みのあった小学校、団体を対象に、公園の7つの姉妹都市をイメージしたコーナーを利用し、国際交流員が姉妹都市や自国の文化を紹介しました。2011年度も引き続き、講座を開講します。ぜひご利用ください。



全州市コーナーにて

(財)金沢国際交流財団「国際交流まつり2010」

18回目となる「国際交流まつり」は、2010年10月2日(土)、3日(日)に金沢市役所前広場および庁舎内にて開催されました。このイベントは、市内近郊で活動する約40の国際交流団体と国際交流財団から成る運営委員会が主催し、2日間で約15,000人の方が会場に訪れました。

このまつりは金沢市民が世界や日本の文化に親しみながら、金沢の国際交流団体の活動や外国人市民が持つ多様な文化についての理解を深めるだけでなく、金沢の地域で暮らす外国人と日本人が隣人として日常的につながることでできる「きっかけ」の場をつくることを目的として実施しています。庁舎前広場の国際交流団体が出展するブースでは趣向がこらされた内容で活動がPRされ、たくさんの市民の方が訪れました。

またステージでは世界各国の歌や踊りが披露されました。多彩な参加型企画が目白押しだった庁舎内では、多言語で会話を楽しむ企画や書道コーナーなど多くの方が出会うきっかけづくりが行われました。

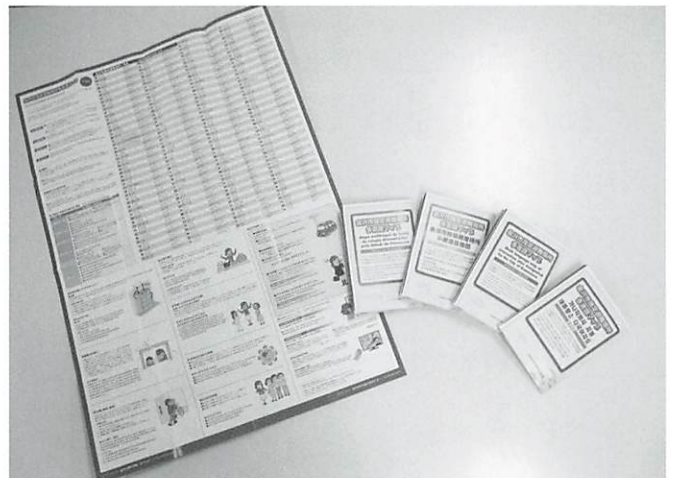
今回はお子さんの参加も多く、このまつりが、子どもの頃から国際交流に慣れ親しむ場になっていることを参加団体の方々は喜んでいました。



多彩なプログラムが登場したステージ

多言語避難所マップ発行

金沢市は、多言語避難所マップを発行しました。オモテ面には指定避難場所を示した地図、ウラ面には防災情報や避難場所で行われる活動の解説等を掲載し、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の4ヶ国語で作成されています(日本語併記)。「金沢生活ガイド」とともに、市役所の市民課・危機管理課や国際交流課、リファレの金沢国際交流財団などで無料配布しています。



4ヶ国語による避難所マップ

国際交流ダイアリー

4~6月

- 4月2日 韓国 全羅北道円光（ウォンガン）大
学校ソフトボール部 来訪
- 4月27日 中国 大連銀行訪問団 来訪
- 5月17日 イスラエル大使館文化・科学技術担当一
等書記官 来訪
- 6月4日 韓国 禮山郡月進会 来訪
- 6月4日 韓国 全羅北道石川会 来訪
- 6月7日 中国 大連工業大学訪問団 来訪
- 6月11日 駐日ドイツ大使 来訪

7~9月

- 7月13日 タイ SEDP2010研修団 来訪
- 7月15日 金沢出身青年海外協力隊員 帰国挨拶
- 7月15日 ゲント市演劇関係者 来訪
- 7月16日 駐日アメリカ大使 来訪
- 7月16日 駐日スウェーデン大使 来訪
- 7月16日 韓国 CBS全北放送少年少女合唱訪問団
来訪
- 7月20日 韓国 (社) 韓紙文化振興院訪問団 来訪
- 8月19日 ベルギー短期交換留学生 来訪
- 8月24日 イスラエル大使館広報担当一等書記官
来訪
- 9月2日 金沢市早朝ソフトボール連盟 第11回韓
国ソフトボール交流友好訪問団 出発挨拶
- 9月15日 駐モーリタニア日本国特命全権大使 来
訪

9月24日 蘇州市総工会 来訪

9月27日 米国シアトル市エクスタイン中学校を訪問する大徳中学校国際交流研修派遣団
出発挨拶

10~12月

- 10月2日~10日 鈴木金沢美術工芸大学教授らバツ
ファロー・ステート・カレッジ訪問
- 10月5日~11日 全州市鄭周河氏写真展開催
- 10月6日 崔孝俊韓国国立現代美術館徳寿宮分館長
来訪
- 10月7日 ブラジル パウリスタ・マレットゴルフ
連盟 来訪
- 10月8日 リビア ガダフィ国際慈善財団専務理事
来訪
- 10月13日 「金沢大学-全北大学ジョイントシンポ
ジウム」参加団 出発挨拶
- 10月15日 韓国 全州市議会代表団 来訪
- 11月12日 中国 蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 11月4日 金沢市柔道協会 全州市訪問
- 12月20日 韓国中央音楽大学弦楽合奏団訪問団
来訪

1~3月

- 1月25日 金沢出身青年海外協力隊員 帰国挨拶
- 1月28日 フランス大使館文化参事官 来訪

ロバート・ワーサーム(アメリカ)



皆さん、こんにちは！去年の猛暑の時期にアメリカから金沢にやって来ましたロバート・ワーサームです。金沢に来てあっという間に半年が経ち、その間に金沢の美しい紅葉や雪景色を見ることができました。季節の移り変わりを楽しむことにつれ、国際交流員として多くの経験を積むことができました。金沢の街にも慣れ、道に迷わなくなりました。

去年の8月に来日して、一番初めのオリエンテーションで「国際交流員は本当に何でも屋だよ」と言われました。そして実際に、この6ヶ月間に様々な仕事を体験しました。ご挨拶の通り、業務の大部分を占める翻訳はもちろんのこと、通訳、表敬訪問、その他子供たちを対象にアメリカの文化や遊びを紹介するイベント、帰国子女を対象とした英会話イベント、国際交流まつりの司会進行、ラジオ出演、テレビ出演などもしました。

去年の最初の大きい事業はイスラエル大使館の表敬訪問の通訳でした。金沢に着てから1ヶ月もっておらずとも緊張しましたが幸いにもうまくいきました。9月に姉妹都市公園を活用するイベントを開催し、金沢の小学生にアメリカの国を紹介しました。そして10月の頭に国際交流まつりで司会進行の役割を果たし、同じ月の中旬には「歴史的用水国際シンポジウム in 金沢」の通訳をしました。

こういったアメリカの文化について多くの人に知ってもらえるような仕事や通訳、翻訳の際には、言葉の壁をななるべく取り除くように努めてきました。今後も金沢で日本人と外国人の架け橋となれるように手助けをしたいと思っています。

ソフィー・ボックラント(ベルギー)



国際交流員の任期が終わる日が近づいています。金沢市役所で5年間も働くことができ、大変光栄でした。大学で留学する機会がなく、日本語能力への不安が多かったことに加え、一人暮らしの経験もあまりなかった中での初めての本格的な仕事でした。心配することも多かったのですが、金沢で出会った人のおかげで意味深い人生経験になりました。翻訳・通訳、文化講座、学校訪問、料理・子供・映画イベント、国際まつりを通して国際交流の重要な価値を実感しました。2010年もгент市との交流が積極的に続きました。金沢大学ではベルギー人5名が短期留学し、金沢美術工芸大学でも留学生交換が行われました。5月には北陸ベルギー友好協会が発足され、10月には新しいгент博物館開会式に金沢代表団が出席しました。2011年は姉妹都市提携40周年であるとともに、新しいベルギー国際交流員が金沢市に来ますので、交流が益々深まることを願っています。金沢の四季と景観、兼六園、伝統文化、おいしい魚料理、市民の親切さ、ここで築いた友好関係は金沢を出ても一生忘れません。職場の人を始め、金沢市民の皆さんに心から感謝を申し上げます。5年間大変お世話になりました。Van harte bedankt! (オランダ語でどうもありがとう！)

モハメド・ガネム(フランス)



金沢に来てからもう1年間半経ちました。今年の冬は雪が多く降り、1月末の早朝の兼六園は実に壮麗でした。生まれて初めてこのような真っ白な「雪国」を体験することができました。

今年度、金沢市は日仏交流を深めた事業をいくつもを行いました。金沢に来られて、このようなイベントの準備に協力できたことは極めて良かったと思います。仕事の経験のなかった私にとって有意義な一年でした。

注目を集めたのは5月に金沢市で開催された第2回日仏自治体会議です。その際に金沢市の姉妹都市のナンシー市を始め、仏側18自治体と日本側26自治体の代表者が一堂に会しました。環境、文化、経済、社会というテーマを取り扱ったこの会議は大成功しました。また、会議の開催を機に、大勢の金沢市民に楽しんでもらった「フランス芸術週間」も立派でした。風になびいたフランスの三色旗は百万石大通りを飾り、フランス人の観光客も感動したと思います。

そのほか国際交流員の仕事として、市民との交流イベントも行いました。小中高校や大学、公民館やボランティアサークルの方と出会うことができました。みなさんと一緒にフランスや日本などに関する話をし、お互いに「異文化」というものが実感でき、大変興味深い交流でした。

金 荷娜(韓国)



「アンニョンハセヨ。金沢市国際交流員、金荷娜です。」このように挨拶できるのも最後になりました。3年間の国際交流員としての仕事を終え、帰国することになりました。2010年度は金沢で生活する最後の年でもあり、後悔しないように仕事もプライベートも頑張るつもりでやってきました。金沢市と韓国との交流の幅はだんだん広まってきて、その交流の中で一緒に仕事できたことをうれしく思います。もちろん学校訪問や文化講座を通して韓国を紹介したこともうれしいのですが、3年目になると金沢に対する愛情も深まってきて、逆に魅力のある金沢を韓国への所々へ紹介することができたことがうれしいです。金沢は創造都市にも認定されその魅力が世界へ知られており、新幹線も通ることもあって観光客誘致に向けて外国語対応にも力を入れています。お隣の国、韓国からもこれから多くの観光客が来ることを期待して色々な仕事に関わってきた一人として、金沢の活躍を心から祈っています。金沢は私にとって第2の故郷になりました。金沢で作った3年間の思い出をお土産に持って帰り、韓国に帰っても続けて金沢の魅力を発信して行きます。今まで支えてくださった皆様に感謝の言葉を伝え、これからも金沢の発展や韓国との交流を応援します。



第37号 (2010・平成22年度)

発行 金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局文化交流部国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069

E-mail : kokusai@city.kanazawa.lg.jp